

令和5年度  
事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日



学校法人 花田学園

東京有明医療大学

日本鍼灸理療専門学校

日本柔道整復専門学校

## 目 次

I. 法人の概要	
1. 基本方針	1
2. 法人の沿革	1
3. 設置する学校等	2
4. 役員に関する事	2
5. 評議員に関する事	2
6. 教職員に関する事	2
II. 事業の概要	
1. 東京有明医療大学	3
2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校	9
3. 法人本部	14
III. 入学試験に関する事	17
IV. 国家試験に関する事	18
V. 財務の概要	19
VI. その他	
1. 初年度学納金の推移	21
2. 表彰、奨学金・給付金等	22
3. 会議等実施報告	23

## I. 法人の概要

### 1. 基本方針

教育基本法、学校教育法並びに文部科学省、厚生労働省の定める基準に準拠しつつ、創立者花田傳先生の崇高な建学の精神を継承し、医療の一翼を担うに足る人材の育成を教育目標とする。

昭和 31 年創立の日本鍼灸理療専門学校並びに日本柔道整復専門学校における、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師の養成と共に、平成 21 年度より東京有明医療大学における大学教育並びに平成 25 年度からの大学院教育・研究を通じ、鍼灸並びに柔道整復の教育・研究と、看護教育・研究との融合を推進する。東洋医学・伝統医学・西洋医学の分野において、高度化する医療の担い手として、確かな知識と医療技術、さらに人格識見に優れた、より幅の広い医療人の育成を通じ、社会に貢献することを基本方針とする。

### 2. 法人の沿革

昭和 31 年	4 月	日本中央鍼灸専門学校設立・東京高等柔道整復学校設立
昭和 38 年	9 月	学校法人花田学園法人認可
昭和 39 年	4 月	日本鍼灸理療学校・日本柔道整復学校に校名変更
昭和 47 年	10 月	専科（鍼灸科）新設
昭和 54 年	7 月	専修学校医療専門課程認可 日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校に校名変更
平成 2 年	4 月	法改正に伴い、修業年限 2 年から 3 年に変更
平成 15 年	8 月	専攻科（アスレティックトレーナー）新設 *日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校
平成 20 年	10 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科認可
平成 21 年	4 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科開学
平成 24 年	11 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科認可
平成 25 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科開設
平成 26 年	10 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程認可
平成 27 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程開設

### 3. 設置する学校等

(単位：名)

大学等	学部・研究科等	学 科	入学定員	収容定員	在籍者数(※)
東京有明医療大学	保健医療学部	鍼灸学科	60	240	174
		柔道整復学科	60	240	212
	看護学部	看護学科	50	200	236
	保健医療学研究科(前期課程)		7	14	9
	保健医療学研究科(後期課程)		2	6	7
	看護学研究科		3	6	1
日本鍼灸理療専門学校	本 科(鍼灸あん摩マッサージ指圧科)		120	360	309
	専 科(鍼灸科)		60	180	72
日本柔道整復専門学校	柔道整復科		120	360	56

※在籍人数は、令和5年5月1日現在の学校基本調査の数値で表記

### 4. 役員に関すること (令和6年3月31日現在)

理 事(定数9名)	監 事(定数2名)
9名 (常勤4名・非常勤5名)	2名 (非常勤2名)

### 5. 評議員に関すること (令和6年3月31日現在)

評議員(定数20名)
20名 (常勤12名・非常勤8名)

### 6. 教職員に関すること

本務教職員数 141名 兼務教職員数 175名 合計 316名

(単位：名)

区 分		法人本部	東京有明医療 大学	日本鍼灸理療 専門学校	日本柔道整復 専門学校	計
教 員	本 務	-	62	20	10	92
	兼 務	-	84	77		161
職 員	本 務	4	32	9	4	49
	兼 務	-	11	3		14

平均年齢は、本務教員 (大学) 54歳 (専門2校) 51歳  
 本務職員 (大学) 44歳 (専門2校) 39歳

※兼務とは、非常勤講師並びにアルバイト・パート雇用者をいう  
 ※在籍人数は、令和5年5月1日現在の学校基本調査の数値で表記

## II. 事業の概要

### 1. 東京有明医療大学

#### (1) 教育・研究関連事項（教育研究等の質の向上）

##### ① 基礎学力の強化と検証

- ・教育課程の継続的な評価・見直しを実施すること、さらなる学修者本位の教育を目指すことから、第2期中期計画に新教育課程の検討を明示した。また、教務委員会においても教養科目の見直しやキャリア教育科目の検討について議論を重ねた。（令和8年度以降入学生を対象にカリキュラム改正を検討）
- ・教授方法の工夫や学修成果の点検・評価については、授業評価アンケートや学生アンケート調査、アセスメント・テスト、アセスメント・ポリシー各項目の検証等を実施し、改善を図った。
- ・学生が主体的に学ぶ姿勢や科学的思考を育むための授業内容の工夫や指導方法の改善について、FD研修会を通じて、他学科の学びを共有することをテーマに各学科の取り組み事例等を紹介し、さらに、グループディスカッションを通じて他の学科や専門領域の授業でも共通している課題や工夫なども意見交換をする機会を設けた。
- ・キャリア教育については、学生が大学において自らが学んだ内容と社会との関連を認識し、専門的知識と自らの職業観について具体的にイメージできるように、各学科学年でのガイダンスやセミナーを開催した。また、求人検索NAVI（就職支援システム）の導入を図り、学生の意思決定の選択の幅を広げられるようにした。
- ・国家試験対策については、合格率の維持・向上のため、授業に加えて、補講や模擬試験、個別指導等を行った。（結果については、「IV. 国家試験に関すること」参照）

##### ② ディプロマ・ポリシーを反映させた教育の実践

- ・各学科とも工夫をこらし、卒業後（＝国家資格取得後）の就業する現場がイメージできるように、実習やセミナーを通して学生のサポートを行った。また、学科独自に低学年からキャリアについて関心を持たせる試みや、当該学科のディプロマ・ポリシーについての理解を深めるための全体講義を実施した。
- ・IR委員会では、学修行動調査における「ディプロマ・ポリシーの達成度」の調査結果を各学科に還元するとともに、調査結果については各委員会で関連する項目を共有し、達成度の検証を行った。
- ・大学院については、共通科目及び専門科目について、開講科目の整理、CP・DPの検証を第2期中期計画に明示した。（令和8年度以降入学生を対象にカリキュラム改正を検討）。

##### ③ 退学率の改善

- ・教員アドバイザーは、アクティブポータルにより授業欠席状況を日常的に確認し、授業の欠席から退学に至るケースを未然に防止するよう努めた。また、各学期の評価が決定した段階で成績不振学生の把握を行い、早期より学修意欲の向上や再起

を促すための学修指導を行っている。

- ・コロナ禍以降の経済状況を反映して経済的理由で在籍に不安を訴える学生が増えつつあり、学生課や学生総合支援室において情報共有しつつ、奨学金のアドバイスなど学生個々に応じ、きめ細かなサポートを行い、学修が継続できるよう支援している。

#### ④ 教育成果の見える化

- ・過年度の GPA 分布状況や、国家試験・資格試験合格率等を公式ホームページの情報公開で教育成果を可視化し学内外に示している。個々の学生対応についてはアクティブポータルを活用し、教職員は単位修得状況、GPA、卒業要件の達成度や授業出席状況、学生対応の履歴を記録した「学生サポートメモ」を確認することができ、これらを活用して学年アドバイザーを中心に学生指導を行った。また、看護学科においては、実習、演習科目を中心にルーブリック評価表を用い専門科目の達成度評価を実施した。
- ・学修成果の可視化ツールである PROG を看護学科でトライアル実施し、次年度に向けて活用可能か検証を行った。

#### ⑤ 教育の質の向上

- ・FD 研修会を「各学科の取り組み事例を学びあう」をテーマに、12月21日に鍼灸学科、3月6日に柔道整復学科、3月8日に看護学科の各学科が主催し、年3回対面方式で実施をした。対面で参加が出来なかった教員には、オンデマンドで配信をして、フォローを行った。研修会では、各学科の取り組み事例等を紹介することに加えて、グループディスカッションや質疑応答を通じて他の学科や専門領域の授業でも共通している課題や工夫なども意見交換することができた。
- ・授業評価アンケートにより、個々の授業について一定の再評価を行うことができた。アンケートの全体集計結果は、学生及び教員にアクティブポータルで公表している。また、個々の授業科目の結果については、学生のコメントも含めて科目担当教員にフィードバックし、授業方法等の改善に役立てている。
- ・オンライン授業における授業教材配信の問題となる著作権に対応し、教育分野の著作権等の利用の円滑化を図るため、(一社)授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)に申請し、昨年度に引き続き制度の適用を受けた。
- ・令和4年度に受審をした大学機関別認証評価での参考意見を踏まえて、令和6年4月1日の施行に向けて東京有明医療大学履修規則について看護学科における履修科目の登録申請の上限を改正(各年次53単位までを49単位までに変更)した。さらに、アスレティックトレーナーコース履修内規を新たに設け、履修者選定方法の見直しを図った。

#### ⑥ 研究の質の向上

- ・公的研究費の管理体制及び研究倫理への取組みに対し、文部科学省のガイドラインを基に不正防止計画及び公的研究費執行ガイドブックの見直しを行った。また、外部の研究支援専門機関を通じ、研究活動におけるコンプライアンス及

び不正行為、利益相反等研究倫理全般にわたる本学仕様のオンライン研修会を実施するとともに、各教員の理解度を確保するために同機関の理解度テストを実施しており、研究倫理教育一連の継続的な充実を図った。なお、IR委員会では、教員の研究を含めた取組状況や活動実績等を把握するため、教員業績調査を実施した。

#### ⑦ その他

##### ○大学院生の将来設計

- ・大学院生は、教育力や指導力を高め、将来に役立てるために、TA（ティーチング・アシスタント）の登録をして、教員を補佐し授業をサポートする役割を担っている。

##### ○学生ニーズの把握と分析

- ・学修行動調査や授業評価アンケートにより、学生生活や学修に関する傾向を IR 委員会や FD 委員会で分析し、その結果を教職員に共有した。
- ・学生相談室及び学生総合支援室で障害者対策や学修支援など、教員との連携によるサポートを強化するとともに、学生ニーズの把握に努めた。
- ・各学科においては、学年アドバイザー等を中心に、個別指導・面談や日常の学生との会話などによって、学生の学修意欲、出欠席、成績の状況やニーズについての把握に努め、必要に応じ教職員間で共有し、連携して対応した。
- ・IR委員会において、8月に卒業生（卒後3年）とその就職先に対してアンケート調査を実施した。回答結果をどのように教育・研究に活かせるか、学内の各委員会等において検討を開始した。

##### ○他大学との連携

###### [保健医療学部]

鍼灸学科：マサチューセッツ薬科健康科学大学 (MCPHS) 等との交流は訪問中止。

柔道整復学科：モンゴル国立医療科学大学との交流は、教員派遣及び学生のモンゴルでの研修交流は中止。なお、令和5年4月に大学院博士前期課程にモンゴルより2名の留学生が入学した。

###### [看護学部]

シンガポール国立大学看護学部との交流を継続して行った。先方の学生の本学における研修には令和5年7月10日～7月14日の日程で10名が参加し、本学の学生のシンガポール国立大学における研修には、令和6年3月18日～3月22日の日程で4名が参加した。

また、今年度からオーストラリア チャールズ・スタート大学との交流を開始した。本学の学生のチャールズ・スタート大学における研修には令和5年8月7日～8月18日の日程で3名が参加した。

## (2) 教育環境（施設・備品等）関連事項（教育環境の整備）

### ① キャンパスの総合整備

- ・キャンパスの総合整備に関しては、本校舎竣工後15年が経過しており、今後の設

備更新を視野に、建設会社から提案された長期的な設備保守管理計画案を踏まえ、第2期中期計画に具体的な実施に向けた計画を盛り込んだ。

その他、教育・研究や施設に関する主な機器・備品類の購入は以下のとおり。

教育・研究関係		その他施設・設備関係	
大学内認証ファイルサーバー4基	624万円	グラント加圧給水ユニット更新工事	416万円
大学内電話交換機入替更新工事	352万円	屋上外調機排気ファン更新工事	269万円
教育研究機器(超音波治療器・PC他8点)	237万円	屋上外調機用給気静圧指示調節器交換工事	68万円

## ② サーバーの整備

- ・新サーバー4基の移行作業を実施し、ユーザ認証・共有フォルダの動作試験に問題がない事を確認した。サーバーのメーカーとは向こう5年間のオンサイト保守契約を結んだ。

## (3) 業務運営管理関連事項（業務運営・管理の改善）

### ① ガバナンスの強化

- ・令和5年度は初めて教員業績調査を実施し、学修行動調査も引き続き実施した。また、ガバナンスコードの策定に向け、参考となる資料の収集を行った。

### ② 内部統制の強化

- ・研究機関として、不正防止計画の公表並びに実施により、コンプライアンス研修の受講状況は良好であった。

### ③ 自己点検・評価の実施

- ・令和4年度に受審した大学機関別認証評価の結果を踏まえ、令和6年度から5か年計画の第2期中期計画を策定した。
- ・第1期中期計画（PDCA サイクル表）の進捗状況を管理し、計画の遂行状況の把握に努め、自己点検評価を実施した。また、前年同様に内部監査室による実施状況のヒアリングが行われ、評価委員会において報告を実施した。

## (4) 運営・財務関連事項（財務基盤の安定）

### ① 入学者の確保

- ・令和5年度中の令和6年度生の入学者選抜は、保健医療学部の鍼灸学科、柔道整復学科とも定員割れとなった。看護学部は、志願者数は減少したものの、従来通り定員を確保した。
- ・予定した広報活動については計画どおり実施した。特に高校内ガイダンスについては、コロナ禍前より数を増やし実施できた。
- ・出願および合格発表をウェブを用いて実施することで受験生の利便性を向上させた。
- ・学生募集に関しては、早期の受験校決定や年内合格志向など、選抜試験の多様化や変化に対応し、以下のような広報強化策を講じた。

#### 1) 進学情報サイトの効果的な活用に向けた選定



- 2) スマートフォンの使用を前提とする Instagram や Line 等の SNS を活用した情報発信の充実
- 3) 新学習指導要領の移行を受けて実施される令和7年度選抜試験を機に、魅力のある選抜方法や選考基準に見直すための検討、及び学校推薦型選抜の指定校推薦の高校指定における推薦可能人数やメリット等の検討
- 4) オープンキャンパス等への積極的な取り組み
  - ・ 早期に開催日程を決定し、募集を開始
  - ・ 対面型で実施し、学科の特長や強みを分かりやすく、丁寧な説明によることを徹底
  - ・ 個別相談や学内見学の希望に応えられるように、ホームページからの申込みや学科の対応体制を整備

(過去5年の志願者・入学者の推移 (令和2年度～令和6年度)) (単位:名)

	定員	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
鍼灸学科	60	67	60	52	42	51	42	54	43	30	21
柔道整復学科	60	105	71	66	58	63	56	68	54	49	40
看護学科	50	291	60	236	61	211	64	163	60	145	60

(令和6年5月1日現在)

(令和5年開催 オープンキャンパス参加実績)

(単位:名)

	参加者計	鍼灸	柔整	看護
令和5年3月21日(火・祝)	26	8	17	1
令和5年5月21日(日)	20	6	14	—
令和5年6月25日(日)	130	10	21	99
令和5年7月23日(日)	58	23	35	—
令和5年8月5日(土)	131	14	23	94
令和5年8月6日(日)	188	21	45	122
令和5年8月27日(日)	61	21	40	—
令和5年10月1日(日)	57	4	10	43
個別及び団体での来校者	*183	16	19	69
合計	*854	123	224	428

\* 学科未定及び団体参加の79名を含む

## ② 外部資金の獲得

- ・ 経常費補助金については少しずつ増加傾向であったが、令和5年度は大きく減少した。主な原因は収容定員と現員の学生数の乖離によるものであるため、収容定員に沿った学生の確保が大きな課題である。
- ・ 科研費については、応募者に対して公的研究支援室による添削サービスを実施しサポートを行った。今後も同様のサポート体制を継続していく。

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般補助	79,208	81,793	80,664	82,992	64,894
特別補助	4,729	3,681	2,262	1,988	1,366
計	83,937	85,474	82,926	84,980	66,260

外部資金獲得実績	<b>文部科学省・日本学術振興会の科学研究費助成事業</b>
	ア. 研究代表者 (令和5年度交付額 1,149万円) イ. 研究分担者 (令和5年度交付額 404万円)
特別研究費	・特別研究費 3件応募 3件採択 (146万円)

・鍼灸学科1件(内1件継続)  
・柔道整復学科1件  
・看護学科6件(内5件継続)  
・鍼灸学科1件  
・柔道整復学科3件  
・看護学科5件

### ③ 物件費の削減

- ・円安の更なる加速による輸入材料の高騰、人件費の上昇も相まって国内物価上昇の影響は、物品、サービス等あらゆる分野に波及している。消耗品等の購入数量の削減に努めてはいるが、期待した効果は上げられなかった。

### ④ その他

#### ○光熱費の削減

- ・電力料金の見直しについて、令和5年12月より東京電力エナジーパートナーとの新たな電力需給契約を締結した。これにより電気料金単価を引き下げることが出来たが、エネルギー市場は依然として厳しい状況にある。今後も節電対策も含め見直しを継続していく。

## (5) その他の報告

### (校務報告)

令和5年	4月	入学式
		新入生オリエンテーション
		新入生健康診断
		前学期授業開始
		就職セミナー(看護学科4年)
	5月	就職ガイダンス(柔道整復学科4年)
	6月	東大病院導入研修(看護学科1年)
	7月	教養特別講座(湾岸警察署)(柔道整復学科1年)
	8月	前学期学力評価期間
基礎看護実習オリエンテーション、同実習(看護学科2年生)		
オーストラリア チャールズ・スタート大学研修(看護学科)		

令和5年	9月	領域別看護実習オリエンテーション、同実習（看護学科3年生）
		学外関連実習発表会（鍼灸学科4年）
		卒論発表会（柔道整復学科4年）
		消防訓練
		後学期授業開始
	10月	修士・博士論文中間発表会（保健医療学研究科）
	11月	大学祭
		看護師・保健師国家試験ガイダンス（看護学科4年）
		解剖実習（於 東京医科歯科大学）（鍼灸学科2年）
	12月	はり師きゅう師国家試験ガイダンス（鍼灸学科4年）
解剖実習（於 東京医科歯科大学）（柔道整復学科2年）		
令和6年	1月	附属鍼灸センター研修生成果発表会
		後学期学力評価期間（～2月）
	2月	修士・博士論文発表会（保健医療学研究科／看護学研究科）
		就職ガイダンス（看護学科3年）
		修了発表（保健医療学研究科）
		卒業発表（各学科）
	3月	シンガポール国立大学看護学部研修（看護学科）
		入学前授業（各学科）
		卒業式
		第2回FD研修会、第3回FD研修会
		附属鍼灸センター修了式
	附属鍼灸センター入所式・オリエンテーション	

## 2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校

### (1) 教育・研究関連事項（教育研究等の質の向上）

#### ① 自己評価・学校関係者評価の実施

- ・令和4年4月1日から令和5年3月31日における学校運営並びに教育活動等に係る当該年度の自己評価を7月に実施し、その結果に基づき学校関係者評価委員会を例年より早い10月に開催し、理事会で評価意見等の報告を行った。

#### ② 臨床の質の向上

- ・臨床実習については、当初計画通りの外部の臨床実習施設において実施することができ、実技指導の充実に取り組むことができた。
- ・附属実習施設における実習協力者を確保するための施策（パンフレットの配布等）を実施した。また、附属鍼灸院の増床に向け準備に入ることができた。更に附属接骨院やアスレティックトレーナー専攻科の実習施設の活用を推進する。

#### ③ 専門実践教育訓練給付金制度 他

- ・鍼灸校並びに柔整校の全課程が対象となり、令和5年度の本制度の対象者は、3学年全てで132名（鍼灸126名、柔整6名）と、学生全体の約30%の実績と

なった。引続き、本制度の認定要件である学生の異動状況や国家試験合格率並びに就職サポート等の状況を引続き注視し管理していく。

- ・高等教育の修学支援制度の現地指導（日本鍼灸理療専門学校）が令和5年10月24日に実施され、管理業務等について適格であることの報告を受けた。

④ 就職サポート体制の整備

- ・事業計画の本サポート体制の整備には至らなかったが、引続き、就職や開業に伴うサポート体制の整備を進めていく。

⑤ 卒業後教育並びに卒業生との連携・交流等

- ・卒業後教育のひとつである臨床技術の修得を目的とした、日本鍼灸理療専門学校附属鍼灸院における臨床実習生の当該年度の受入れは、令和5年度は10名で、令和6年度研修生は7名の申込みとなった。
- ・「臨床技術研修講座」（一般財団法人東洋医学研究所主催）を計画通り全10回実施し、日本鍼灸理療専門学校の卒業生26名が受講した。
- ・同窓会活動としては、同窓会主催の研修会が、日本鍼灸理療専門学校（10/15）、日本柔道整復専門学校（6/25）に開催され、卒業生との交流の場を作ることができた。

⑥ 国家試験の推移

- ・例年通り、卒業学年単位での補講や既卒者国家試験担当による補講等の指導に注力したが、鍼灸校は、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師において昨年度合格率（既卒者含む）を下回る結果となった。柔整校については、昨年度合格率（既卒者含む）を大幅に上回り、夜間部においては合格者100%の結果となった。（結果については、「IV. 国家試験に関すること」参照）

⑦ 一般財団法人東洋医学研究所との学術連携

- ・⑤記載の通り、当該財団法人主催の「臨床技術研修講座」を10回開催した。
- ・専門学校で学ぶ学生の質的レベルの向上並びに教員への研究員委嘱を通じ、更なる学術連携を図り、研究等に対する助成を行った。

⑧ アスレティックトレーナー専攻科(附帯教育)の充実

- ・平成15年の専攻科開設以来20年が経過し515名が修了、令和4年度までの合格者数は累計233名という結果で、令和5年度の結果は現時点で未発表である。また、日本スポーツ協会の定める施設要件等の変更に伴う対応については、整備を図っている。

◆日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー検定試験年度別合格者数

(単位：名)

平成27年度以前	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
125	18	17	13	18	17	10	15	233

## (2) 教育環境（施設・備品等）関連事項（教育環境の整備）

### ① 教育環境の充実

- ・計画通り、授業等に必要となるパソコンやプロジェクター、実技用機材等を更新し、職員室内のサーバーリプレースも実施できた。
- ・附属鍼灸院の増床については、今年度末から具体的な計画に移り、令和6年度初旬に着手する。
- ・過年度で計画されていた蛍光灯照明器具のLED化を令和5年夏に実施した。
- ・学生ロビー階に、電子レンジ並びにウォーターサーバー（ボトルフリー運動）を設置し、学生サービスの向上を図った。また、施設内の「きれい化」を目指し、引続き清掃並びに備品等の更新を検討していく。

教育・研究関係		その他施設・設備関係	
経絡経穴模型	40万円	照明器具LED化工事等	3,400万円
プロジェクター	74万円		
パソコン・サーバー他	2,335万円		
今期図書購入額	65万円 内、寄贈図書分 18万円		

### ② 学生ポータルサイトの構築

- ・学生ポータルサイトについては実走に至らなかったが、学生が必要とする情報等を入手しやすい環境に整えることを目的に、サイト運用などを再考する。

### ③ 災害時に等における危機管理

- ・備蓄水の更新を計画通り8月に行った。また、備蓄用品の拡充や危機管理マニュアルの更新を引続き検討していく。

## (3) 業務運営管理関連事項（業務運営・管理の改善）

### ① 自己評価ならびに学校関係者評価の充実

- ・(1) ①記載の通り、令和4年度の活動に対する自己評価を行い、自己評価報告書をホームページに掲載した。また、昨年度同様に、私立専修学校教育環境整備費助成事業（専修学校評価促進）として東京都より各校20万円の補助金を受けた。

### ② 減免制度の拡充等、学納金の検討

- ・学生確保に向けた学納金（減免制度や徴収方法を含む）を次年度も検討する。

### ③ 地域貢献活動

- ・令和5年10月25日、事務職員が地域清掃（渋谷駅から桜丘地区）に参加し、町内会や地元企業の方々とのコミュニケーションをとることができた。
- ・5年ぶりに桜丘共栄会主催の「桜まつり」に参画し、来場者にマッサージ等を体験いただき、また附属臨床実習施設（鍼灸院・接骨院）の周知を図ることで地域貢献につながった。

(4) 運営・財務関連事項（財務基盤の安定）

① 入学者数等、学生の確保

- ・両専門学校ともに受験者数の減少傾向が続いており、本年（令和6年度生募集）は、鍼灸校 154 名、柔道整復校 19 名と定員数を下回る受験者数となった。

過去5年の志願者・入学者の推移（令和2年度～令和6年度）（単位：名）

		定員	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
			本科	第1部	60	115	61	83	60	101	63	73
	第2部	60	73	44	62	40	85	59	52	39	50	32
専科	第1部	30	48	31	22	16	26	13	25	18	23	14
	第2部	30	27	16	17	14	15	6	12	6	15	9
柔道整復科	第1部	60	44	39	24	21	14	12	15	14	15	14
	第2部	60	10	6	3	2	9	8	10	5	4	1

- ・広報については以下のとおり実施した。

**（進学情報サイトの効果的な利用）**

新たに参画した『スタディサプリ』（株）リクルート）により、高校生の資料請求数が若干増加した。またそれらのデータを活用して、新高校3年生を対象にDMを発送し、「春のオープンスクール」の告知を行った。

**（高等学校へのアプローチ）**

進路指導担当教員と連携を深めるために、6月下旬頃より高校訪問や高校内ガイダンス等へ積極的に参加し、来校者の誘導を図った。

**（各種イベントの充実）**

学校説明会・見学会等に加え、昨年度も実施した新高校3年生を対象とした「春のオープンスクール」を3月23日に開催し、参加者は前年度より増加した。

**（インターネット媒体の充実）**

- ・令和5年6月にリニューアルしたホームページは、ユーザーにとってより分かりやすい動線に配慮した。また、校長をはじめに教員、学生からのメッセージ動画等のプロモーション動画を新たに作成し配信出来た。
- ・情報発信ツールとして導入したLINE、Instagram・Facebook等のSNSを活用した結果、フォロワー数が増加したことにより、情報の拡散につながったと推測する。

**（学校案内の充実）**

ホームページとの連動・補完に心掛け、新たな制作会社でパンフレット作成を進めた。大学と専門学校を運営する学校法人花田学園の紹介ページや動画配信（YouTubeチャンネル）を掲載するページ等の新企画も盛り込んだ。

**(幅広い受験生への周知)**

あらゆるニーズに見合う情報配信（ランディングページの制作）等、引続き検討していく。

**(卒業生との連携)**

同窓会開催時の情報配信はもとより、約 16,000 名の卒業生との連携を引続き強化していく。

**② 学費支援制度の充実**

- ・日本学生支援機構の奨学金、教育訓練給付金制度、高等教育の修学支援新制度の対象者並びに実績は、以下のとおりとなった。また、学内における成績優秀者に対する学内特待生制度も例年通り実施した。（各利用状況等については、「VI. その他 2. 表彰等」に記載。）

【奨学金】 第一種、第二種並びに給付奨学金 対象者 … 103 名

【専門実践訓練給付金】 鍼灸校 対象者 …126 名、柔整校対象者 …6 名

【高等教育の修学支援新制度】 対象者 …9 名、授業料減免額 4,486,800 円

【学内特待制度】 学内選考委員会にて成績優秀者が決定され、第 1 部並びに第 2 部において総額 9,350,000 円の授業料の減免を行った。

**③ 学校説明会並びに会場ガイダンス等広報活動**

- ・効率を考慮した費用対効果のある広報活動として（4）①に記載の広報活動を積極的に行った。結果については以下のとおり。

【会場ガイダンス等】 高校(会場)ガイダンス … 28 校、資料頒布会 … 45 校  
高校訪問 … 36 校（昨年度実績より倍増）

【学校説明会 参加者数】

(単位：名)

	参加者計	鍼灸	柔整	両校
令和 5 年 5 月 21 日(日)	42	38	4	0
令和 5 年 6 月 18 日(日)	32	23	7	2
令和 5 年 7 月 9 日(日)	39	27	11	1
令和 5 年 8 月 5 日(土)	53	39	12	2
合 計	166	127	34	5

【個別相談等 参加者数】

月曜～土曜日の午前 10 時から午後 4 時の間、参加者の希望する時間で実施し、計 139 名の参加者があった（前年 195 名、前々年 192 名）。昨年に引続きリモートや電話対応による個別相談を実施した。

来校での参加者 …117 名、リモートでの参加 …20 名、電話対応 … 2 名

**④ 収支状況の確認・管理**

- ・月次管理を行い、収支管理の徹底を図った。
- ・各校の教務部管理者並びに事務管理者等で事業計画並びに財務計画を共有し、現状把握の徹底を図っていく。

- ⑤ 第1期中期計画実施状況（P D C A）並びに第2期中期計画の立案
- ・当該年度は第1期中期計画最終年度になる。自己評価並びに学校関係者評価の評価内容等を考慮し、第2期中期計画を立案した。

(5) その他の報告  
(校務報告)

令和5年	4月	学生健康診断
		入学式
		前期授業開始
		A T 専攻科開講式
	7月	定期試験①
	8月	あま指認定実技審査（3年生）
	9月	実力試験①
		鍼灸実技認定審査（3年生）
		柔整卒業実技試験
	11月	柔整認定実技試験（3年生）
A T 理論試験		
東洋療法学校協会統一模試（鍼灸校3年生希望者）		
定期試験②（3年生）		
12月	特別試験（鍼灸校3年生）	
	特別試験（柔整校3年生）	
令和6年	1月	実力試験②（3年生）
		解剖見学（3年生）
	2月	定期試験②（1,2年生）
		A T 実技試験（A T 理論試験合格者）
		実力試験②（1,2年生）
		国家試験（あんまマッサージ指圧師・はり師・きゅう師）
	3月	国家試（柔道整復師）
		A T 専攻科修了式
		卒業式
		国家試験合格発表

3. 法人本部

(1) 業務運営管理関連事項（業務運営・管理の改善）

- ① 組織規程を中心とした諸規程の策定・改定
- ・労基法施行規則改正対応の他、就労時間の見直しと併せて「職員就業規則」、「非常勤就業規則」「研修日規程」を改正した。（令和6年4月1日施行）
  - ・本学園の法人本部、大学、専門学校の現状の組織、業務内容の実態にあわせて「組織規程」「事務分掌規程」を検討し改正した。（令和6年4月1日施行）
  - ・渋谷校舎における学内ポータルサイトの構築については、引き続き検討する。
- ② 私立学校法の改正関係
- ・改正私立学校法の成立を受け、改正内容について令和5年度開催の各理事会、評議員会にて、理事、評議員、監事に対し説明を実施した。寄附行為変更作成例の文部科学省提示を受けて、寄附行為変更に必要な事項について検討を進めた。



- ・現寄附行為による役員任期に伴う理事、評議員、監事の改選を、令和5年10月に実施した。
- ・令和7年度の改正私立学校法施行に向けて、寄附行為変更申請他、改正法施行に伴い必要な作業を検討した。令和6年度中に、寄附行為変更申請等の準備を引き続き推進していく。

③ 人事管理の徹底

- ・前年度に導入した人事マネジメントシステムへの全教職員の人事基本情報の登録を終えた。今後は、更なる活用に向け、情報管理を行っていく。
- ・人事評価制度の構築については、検討すべき課題を抽出し、引続き慎重に進めていく。

④ 監事・独立監査人・内部監査部門の連携

- ・昨年に引続き、内部監査機能の更なる強化を目的に、監事、独立監査人及び内部監査室による三様監査を行った。

◆内部監査室

内部統制を図るうえで、定期監査（会計監査8回（渋谷、有明各4回）、公的研究費監査1回）を実施するとともに、相互補完的に位置付けられている監事・会計監査・内部監査室による三様監査を効果的に進め、定期的に必要な情報を相互交換し、理事長に監査の報告を行った。

また、東京有明医療大学中長期計画のPDC Aサイクル実施状況(令和4年度分)について、各部署に対し業務実施状況のヒアリングを実施した。

⑤ 専門学校統合等の検討

- ・専門学校2校の統合の他、収容定員の適正化については、重要課題として引き続き検討していく。
- ・令和6年度より日本柔道整復専門学校の第2部（夜間部）の入学定員60名を30名に変更することについて理事会で議決された。

(2) 財政基盤の安定

① 中期計画進捗状況等の確認

- ・第1期中期計画が令和5年度で終了することから、法人本部、東京有明医療大学及び専門学校の第2期中期計画（令和6年度から令和10年度まで）を策定した。

② 金融資産の運用・管理

- ・花田学園資産運用規程に従い、運用財産を管理している。令和6年3月末の運用財産合計39億236万円の内訳は、運用有価証券合計9億9,949万円、定期預金9億円、現預金20億287万円で、資産運用規程の運用有価証券割合45%以下に対し25.6%であり、規程の範囲内である。
- ・令和5年度は、債券の償還による再運用と、保有株式の時価評価額の増加を勘案して、保有株式の一部を売却し債券の運用に再配分し、運用割合の見直しを図った。

たことにより、令和6年3月末の運用有価証券全体の時価評価において、評価損益は、1億1,886万円の含み益を計上。個別銘柄において決算書注記への記載、簿価の強制低価処理等の対応に該当するものはなかった。

- ・令和5年度の受取利息収入年間合計は約2,494万円となった。
- ・運用規程を遵守して運用資産残高管理を行い、低リスク資産（定期預金等）を一定額確保した上で、金融経済市場の情勢に注視しながら、リスクとリターンのバランスに留意し、運用商品の特性に応じたポートフォリオの見直しを行い、資産の成長を図る。

— 保有運用有価証券内訳 —

種 類	貸借対照表計上額	構成比
債 券(仕組債)	500,000,000 円	50.03%
株 式	69,191,680 円	6.92%
投資信託	430,301,366 円	43.05%
合 計	999,493,046 円	100.0%

③ 経営及び維持管理体制の強化

- ・大学の各学部、学科、専門学校各校ごとの入学者定員充足状況並びに在籍者の休退学状況を把握し、人件費並びに教育研究経費等の管理を行った。
- ・費用面では、物価高騰による支出の増加や経年劣化による設備機器等の修理並びに更新により、単年度の収支差額はマイナスの状況にある。また、事業活動収支でも経年マイナスが続いていることより、収支バランスを更に配慮した管理運営に注力していく。
- ・設備等に係る更新費用の確保として、事業計画通り設備拡充引当特定資産への積立を行った。

④ 保有資産の管理

- ・事業計画通り、令和5年夏に渋谷校舎全ての照明器具のLED化を行った。
- ・花田メディカルビルの建物の経年劣化の状況について、耐震改修工事等について建築会社に建物診断調査を依頼し、保全改修工事対応策について調査結果の報告を受けた。

(主な施設等の状況)

区 分	土 地		建 物	
江東区有明	大学校地	9,000.00 m <sup>2</sup>	有明校舎	15,482.33 m <sup>2</sup>
渋谷区桜丘	専門学校校地	509.04 m <sup>2</sup>	渋谷校舎	3,295.16 m <sup>2</sup>
渋谷区桜丘	メディカルビル	187.24 m <sup>2</sup>	メディカルビル	805.50 m <sup>2</sup>

⑤ デジタルトランスフォーメーション（DX）対応

- ・具体的なDXに至ってはいないが、引続きシステム導入について、組織の活性化、業務の効率化等の解決を必要とする課題の分析、整理、費用対効果の見極め、組織変革を積極的に推進する。

Ⅲ. 入学試験に関すること ※令和6年度入学生（令和5年度入試実施）（令和6年5月1日現在）

（東京有明医療大学）

【保健医療学部】入学定員 鍼灸学科 60名 柔道整復学科 60名

【看護学部】入学定員 看護学科 50名 （定員倍率=志願者数/定員）

（単位：名）

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						現役者数	既卒者数		令和3年	令和4年	令和5年
保健医療学部	鍼灸学科	30	24	0.5	21	20	1	19.48	52	51	54
	柔道整復学科	49	42	0.82	40	39	1	18.13	66	63	68
	合計	79	66	0.66	61	59	2	18.59	118	114	122
看護学部	看護学科	145	91	2.9	60	56	4	18.17	236	211	163
	合計	145	91	2.9	60	56	4	18.17	236	211	163
総数		224	157	1.32	121	115	6	18.38	354	325	285

【大学院 保健医療学研究科】入学定員 博士前期課程 7名・博士後期課程 2名

【大学院 看護学研究科】入学定員 修士課程 3名

（単位：名）

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	職歴別者数		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						有	無		令和3年	令和4年	令和5年
保健医療学研究科	博士前期課程	4	4	0.57	4	1	3	23.5	7	7	6
	博士後期課程	0	0	0	0	0	0	-	4	2	1
看護学研究科	修士課程	1	1	0.33	1	1	0	28.00	0	1	0
総数		5	5	0.42	5	2	3	24.4	11	10	7

（日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校）

【日本鍼灸理療専門学校】入学定員 本科各部 60名 専科各部 30名

【日本柔道整復専門学校】入学定員 柔道整復科各部 60名

（単位：名）

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別者数		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						大卒	高卒		令和2年	令和3年	令和4年
本科	第1部	66	54	1.10	51	24	18	27.12	83	101	73
	第2部	50	35	0.83	32	22	2	26.81	62	85	52
	計	116	89	0.97	83	46	20	27.00	145	186	125
専科	第1部	23	15	0.77	14	2	5	30.29	22	26	25
	第2部	15	10	0.50	9	3	3	26.00	17	15	12
	計	38	25	0.63	23	5	8	28.61	39	41	37
鍼灸合計		154	114	0.86	106	51	28	27.35	211	184	227
柔整科	第1部	15	14	0.25	14	0	13	18.71	24	14	15
	第2部	4	1	0.07	1	1	0	32.00	3	9	10
柔整合計		19	15	0.16	15	1	13	19.60	32	27	23
2校合計		173	129	0.58	121	52	41	26.39	317	211	250

#### IV. 国家試験に関すること

令和5年度実施の国家試験の合格状況は以下のとおり（国家試験新卒合格率の過去3年間推移）

（試験日）

●保健師 …令和6年2月9日（金） ●看護師 …令和6年2月11日（日）

●はり師・きゅう師 …令和6年2月25日（日）

●あん摩指圧マッサージ師 …令和6年2月24日（土）

●柔道整復師 …令和6年3月3日（日）

（東京有明医療大学）

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均 新卒合格率
令和3年度	鍼灸学科	はり師	100%	90.2%
		きゅう師	100%	91.3%
	柔道整復学科	柔道整復師	87.1%	81.0%
	看護学科	看護師	98.2%	96.5%
保健師		92.9%	93.0%	
令和4年度	鍼灸学科	はり師	92.5%	85.5%
		きゅう師	92.5%	85.9%
	柔道整復学科	柔道整復師	63.6%	65.4%
	看護学科	看護師	100%	95.5%
保健師		85.7%	96.8%	
令和5年度	鍼灸学科	はり師	78.4%	85.8%
		きゅう師	82.4%	86.2%
	柔道整復学科	柔道整復師	50.0%	84.0%
	看護学科	看護師	100%	93.2%
保健師		100%	97.7%	

（日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校）

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均 新卒合格率
令和3年度	本 科	はり師	93.1%	90.3%
		きゅう師	93.1%	91.4%
		あん摩マッサージ指圧師	98.9%	94.7%
	専 科	はり師	87.5%	90.3%
		きゅう師	89.5%	91.4%
柔道整復科	柔道整復師	63.2%	81.0%	
令和4年度	本 科	はり師	85.7%	85.5%
		きゅう師	85.7%	85.9%
		あん摩マッサージ指圧師	96.9%	97.3%
	専 科	はり師	78.0%	85.5%
		きゅう師	73.2%	85.9%
柔道整復科	柔道整復師	59.4%	65.4%	
令和5年度	本 科	はり師	80.4%	85.8%
		きゅう師	80.4%	86.2%
		あん摩マッサージ指圧師	89.2%	92.8%
	専 科	はり師	86.2%	85.8%
		きゅう師	89.7%	86.2%
柔道整復科	柔道整復師	93.3%	84.0%	

## V. 財務の概要

### (決算の概要)

#### ・貸借対照表の状況

資産の部合計約 144 億 5,280 万円と昨年度より約 1 億 8,590 万円減少し、負債の部合計約 5 億 3,830 万円と昨年度より約 1 億 2,280 万円減少、基本金組入を行った後の繰越収支差額は約△10 億 3,340 万円の結果となった。

主な要因として、資産の減少は減価償却による減少で、負債の減少は、主に流動負債(未払金や前受金)の減少が要因であった。

#### ・収支計算書の状況

資金収支では、単年度収支で△2 億 1,280 万円となった。当該年度は、次年度入学予定者からの前受金が減少したこと等による収入減となり、支出については専門学校における照明器具の LED 化やパソコン等のリプレース費用等が主な増加の要因である。

事業活動収支では、教育活動収支差額約△2 億 6,400 万円、教育活動外収支差額約 2,480 万円の結果、経常収支差額は△2 億 3,920 万円、特別収支差額は、固定有価証券売却益等により約 1 億 7,610 万円のプラス、基本金組入前当年度収支差額は約△6,310 万円となった。基本金組入△約 3,750 万円より、当年度収支差額は約△1 億 60 万円の結果となった。

#### ・経年比較(直近3年間)

##### 1) 貸借対照表

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産	11,653,604	11,764,721	11,803,453
流動資産	3,033,934	2,873,985	2,649,362
<b>資産の部合計</b>	<b>14,687,538</b>	<b>14,638,706</b>	<b>14,452,815</b>
固定負債	120,277	131,724	152,281
流動負債	512,636	529,352	386,038
<b>負債の部合計</b>	<b>632,913</b>	<b>661,076</b>	<b>538,320</b>
<b>基本金の部合計</b>	<b>14,900,571</b>	<b>14,910,457</b>	<b>14,947,908</b>
繰越収支差額	△845,946	△932,827	△1,033,413
純資産の部合計	14,054,625	13,977,629	13,914,495
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>14,687,538</b>	<b>14,638,706</b>	<b>14,452,815</b>

##### 2) 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒納付金収入	1,949,091	1,958,367	1,807,016
手数料収入	22,175	19,719	16,225
寄付金収入	1,920	2,000	2,000
補助金収入	140,766	138,252	109,087
資産売却収入	0	145,760	501,726
付随事業・収益事業収入	66,296	56,226	56,244

支出の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受取利息・配当金収入	23,443	24,337	24,937
雑収入	53,143	51,225	39,172
前受金収入	419,798	381,938	305,379
その他の収入	42,513	58,322	40,457
資金収入調整勘定	△433,319	△452,572	△402,419
前年度繰越支払資金	2,780,505	2,968,793	2,815,705
<b>収入の部合計</b>	<b>5,066,330</b>	<b>5,352,365</b>	<b>5,315,528</b>
人件費支出	1,539,974	1,512,343	1,520,054
教育研究経費支出	349,510	417,149	388,023
管理経費支出	111,584	121,279	118,161
施設関係支出	39,765	11,268	8,061
設備関係支出	41,504	12,360	41,771
資産運用支出	34,148	502,897	560,336
その他の支出	67,785	98,738	164,517
資金支出調整勘定	△86,769	△139,374	△88,266
次年度繰越支払資金	2,968,793	2,815,705	2,602,872
<b>支出の部合計</b>	<b>5,066,330</b>	<b>5,352,365</b>	<b>5,315,528</b>

3) 事業活動収支計算書

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動収入	2,230,423	2,228,910	2,028,696
教育活動支出	2,259,776	2,320,656	2,292,688
教育活動収支差額	△29,353	△91,746	△263,992
教育活動外収入	23,443	24,337	24,937
教育活動外支出	0	163	147
教育活動外収支差額	23,443	24,174	24,791
経常収支差額	△5,910	△67,572	△239,201
特別収入	10,036	5,572	178,904
特別支出	2,179	14,713	2,836
特別収支差額	7,857	△9,141	176,067
予備費	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	1,947	△76,713	△63,134
基本金組入額合計	△57,763	△14,916	△37,451
当年度収支差額	△55,815	△91,629	△100,585
前年度繰越収支差額	△790,131	△845,946	△932,827
基本金取崩額	0	5,030	0
翌年度繰越収支差額	△845,946	△932,545	△1,033,413

#### 4) 主な財務比率比較

	算式	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	86.48%	86.91%	87.99%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	6.22%	6.12%	4.89%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	68.64%	67.85%	75.10%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	25.85%	29.07%	29.91%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.77%	6.08%	6.63%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	2.55%	△0.44%	1.68%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}(\ast)}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	95.7%	95.48%	96.28%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	79.3%	80.37%	81.67%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	20.7%	19.63%	18.33%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	707.2%	737.21%	848.84%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	0.8%	0.90%	1.05%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	3.5%	3.62%	2.67%

※純資産＝基本金＋繰越収支差額

#### (関連当事者との取引)

理事、監事及び評議員に対し調査を行い、関連当事者取引がないことを確認した。

## VI. その他

### 1. 初年度学納金の推移 ※過去3年間の推移

(東京有明医療大学)

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
授業料	鍼灸学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	柔道整復学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	看護学科	1,100,000	1,100,000	1,100,000	
実習費	鍼灸学科	325,000	325,000	325,000	
	柔道整復学科	325,000	325,000	325,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
施設設備費	鍼灸学科	350,000	350,000	350,000	
	柔道整復学科	350,000	350,000	350,000	
	看護学科	350,000	350,000	350,000	
入学金	鍼灸学科	300,000	300,000	300,000	
	柔道整復学科	300,000	300,000	300,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
合計	鍼灸学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	柔道整復学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	看護学科	2,050,000	2,050,000	2,050,000	
入学検定料		35,000	35,000	35,000	

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
授業料	本科	1,100,000	1,100,000	1,100,000		
	専科	900,000	900,000	900,000		
	柔道整復科	1,040,000	1,040,000	1,040,000		
施設費	本科	130,000	130,000	130,000		
	専科	130,000	130,000	130,000		
	柔道整復科	130,000	130,000	130,000		
入学金	本科	第1部	700,000	700,000	700,000	
		第2部				
	専科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
	柔道整復科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
合計	本科	第1部	1,930,000	1,930,000	1,930,000	
		第2部				
	専科	第1部	1,630,000	1,630,000	1,630,000	
		第2部	1,430,000	1,430,000	1,430,000	
	柔道整復科	第1部	1,770,000	1,770,000	1,770,000	
		第2部	1,570,000	1,570,000	1,570,000	
入学検定料		30,000	30,000	30,000		

## 2. 表彰・奨学金・給付金等

(東京有明医療大学)

## ●成績優秀者及び経済的困難者への授業料減免制度

1 成績優秀者	学部・学科毎に学業成績最優秀者を決定し、3学年までの各学科1名の計9名に対し授業料を減免	減免額 40万円
	学部・学科毎に学業成績優秀者(2位、3位)を決定し、3学年までの各学科2名の計18名に対し授業料を減免	減免額 2位者 15万円 3位者 5万円
2 一般選抜成績優秀者	各学科入学生のうち1名ずつの計3名に対し授業料を減免	減免額 40万円
3 経済的困難に対する授業料減免	9名	減免額 25万円
4 経済的困難(家計急変)に対する授業料減免	0名	減免額 0万円

※他、優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

## ●日本学生支援機構の令和5年度採用の奨学金

(単位：名)

	種別	在学採用	臨時採用	予約採用	計
学部生	一種・二種	18	0	34	52
	給付	5	0	12	17
大学院生	一種・二種	4	0	0	4

## ●高等教育の修学支援新制度(うち授業料減免分)

学部	学科	対象数(名)	減免額(円)
保健医療学部	鍼灸学科	18	6,767,100
	柔道整復学科	26	13,183,900
看護学部	看護学科	22	11,667,000
合計		66	31,618,000



(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

●学内特待制度(成績優秀者への授業料減免制度)

成績優秀者	学科・部毎に成績最優秀者を決定 日本鍼灸理療専門学校 34名 6,950,000円 日本柔道整復専門学校 8名 2,400,000円	授業料の減免額 (本科・柔道整復科) 1位者 30万円・2位者 15万円 3位者 10万円 (専科) 1位者 25万円・2位者 15万円 ※各学年における定員カバー率によつて異なる
-------	--	--

上記の他、卒業式や学年終業時に優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

●日本学生支援機構の令和5年度採用の奨学金 (単位:名)

	種別	定期採用	臨時採用	予約採用	計
日本鍼灸理療専門学校	一種・二種	28	4	4	36
	給付	0	0	0	0
日本柔道整復専門学校	一種・二種	4	1	2	7
	給付	1	0	0	1

●高等教育の修学支援新制度(うち授業料減免分)

	対象者数(名)	減免額(円)
日本鍼灸理療専門学校	6	2,753,400
日本柔道整復専門学校	3	1,733,400
合計	9	4,486,800

3. 会議等実施報告

(法人本部)

●理事会

	開催日	主な議題等	備考
第1回	令和5年 5/25(木)	1. 令和4年度事業報告書(案)の承認について 2. 令和4年度収支決算報告書(案)の承認について -報告事項- ・私立学校法の一部改正について ・中期計画の実施状況について	
第2回	10/19(木)	1. 任期満了に伴う、職員からの評議員推薦について 2. 任期満了に伴う、卒業生からの評議員選任について 3. 任期満了に伴う、学識経験者からの評議員選任について 4. 任期満了に伴う、監事候補者選出について 5. 任期満了に伴う、学識経験者からの理事選任について 6. 任期満了に伴う、学校長兼務時の学識経験者からの理事選任について 7. 一般財団法人 東洋医学研究所との関連取引について -報告事項- ・寄附行為作成例の一部改正に伴う今後の対応について ・令和5年度会計中間報告について ・学校法人花田学園電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理要領について	
第3回	10/19(木)	-報告事項- ・任期満了に伴う、理事会推薦の職員からの評議員選任報告について ・任期満了に伴う、監事選任報告について ・任期満了に伴う、評議員からの理事選任報告について”	

第4回	令和6年 3/21(木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度一般財団法人東洋医学研究所との関連取引について</li> <li>2. 令和6年度1契約1千万を超える契約について</li> <li>3. 東京有明医療大学学則並びに大学院学則の一部改定について</li> <li>4. 日本柔道整復専門学校学則変更(定員の見直し)について</li> <li>5. 学校法人花田学園職員就業規則、非常勤職員就業規則及び研修日規程の改正について</li> <li>6. 学校法人花田学園組織規程及び事務分掌規程の改正について</li> <li>7. 理事会議決による人事異動等について</li> </ol> <p>-報告事項-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校法改正に伴う寄附行為変更等の進捗状況について</li> <li>・令和6年度監事監査重点項目について</li> <li>・東京有明医療大学履修規則について</li> <li>・令和5年度専門学校 学校関係者評価報告について</li> <li>・資産運用状況報告について</li> <li>・令和6年度理事会・評議員会の開催予定について</li> </ul>	
第5回	3/21(木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度補正予算(案)について</li> <li>2. 第2期中期計画(案)について</li> <li>3. 令和6年度事業計画書(案)について</li> <li>4. 令和6年度収支予算書(案)について</li> </ol>	

### ●評議員会

	開催日	主な議題等	備考
第1回	令和5年 5/25(木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度事業報告書(案)について</li> <li>2. 令和4年度収支決算報告書(案)について</li> </ol> <p>-報告事項-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校法の一部改正について</li> <li>・中期計画の実施状況について</li> </ul>	
第2回	10/19(木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 任期満了に伴う、理事会推薦の職員からの評議員選任について</li> <li>2. 任期満了に伴う、理事会選出監事の同意について</li> <li>3. 任期満了に伴う、評議員からの理事選任について</li> </ol> <p>-報告事項-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任期満了期満了に伴う、理事会からの評議員選任報告について</li> <li>・任期満了に伴う、理事会からの理事選任報告について</li> <li>・寄附行為作成例の一部改正に伴う今後の対応について</li> <li>・令和5年度会計中間報告について</li> <li>・学校法人花田学園電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理要領について</li> <li>・一般財団法人東洋医学研究所との関連取引について</li> </ul>	
第3回	令和6年3/21 (木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度補正予算(案)について</li> <li>2. 第2期中期計画(案)について</li> <li>3. 令和6年度事業計画書(案)について</li> <li>4. 令和6年度収支予算書(案)について</li> </ol> <p>-報告事項-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度一般財団法人東洋医学研究所との関連取引について</li> <li>・令和6年度1契約1千万を超える契約について</li> <li>・東京有明医療大学学則並びに大学院学則の一部改定について</li> <li>・日本柔道整復専門学校学則変更(定員の見直し)について</li> <li>・学校法人花田学園職員就業規則、非常勤職員就業規則及び研修日規程の改正について</li> <li>・学校法人花田学園組織規程及び事務分掌規程の改正について</li> <li>・人事について</li> <li>・私立学校法改正に伴う寄附行為変更等の進捗状況について</li> <li>・令和6年度監事監査重点項目について</li> <li>・東京有明医療大学履修規則について</li> <li>・令和5年度専門学校 学校関係者評価報告について</li> <li>・資産運用状況報告について</li> <li>・令和6年度評議員会の開催予定について</li> </ul>	

### (東京有明医療大学)

名称	開催頻度	審議内容等	R5年度開催数
大学運営会議	原則2か月に1回	将来構想に関する事項、組織に関する事項、施設及び設備に関する事項、予算及び決算に関する事項、学生に関する事項、教職員に関する事項、その他運営に関する重要事項	5
大学協議会	毎月1回	学則その他学内諸規則の制定・改廃、教育・研究、教員人事の基準、学生の身分・厚生指導及びその他大学の運営に関する事項	12
教授会 (保健・看護)	毎月1回	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が教授会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該学部の運営に関する重要事項	保14 看17

名 称	開催頻度	審 議 内 容 等	R5 年度 開催数
研究科委員会 (保健・看護)	毎月 1 回	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が委員会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該研究科の運営に関する重要事項	保 13 看 13
教務委員会	毎月 1 回	教育課程の編成、学生の単位取得、授業時間割の編成、学生の履修指導、定期・追・再試験、研究生、科目履修生等の教務に関する事項及びその他教務に関する事項	10
学生委員会	毎月 1 回	学生指導の基本方針、学生活動、学生生活、学生の表彰・懲戒及びその他学生に関する事項	8
紀要委員会	必要の都度	編集方針、原稿の採否、掲載の順位、部数及びその他紀要に関する事項	3
大学評価委員会	必要の都度	教育研究等の状況に係る自己点検・評価、教育内容等の改善のための組織的な研修、教育研究等の状況に係る公表及びその他評価等に関する事項	2
就職委員会	必要の都度	キャリア及び就職の支援並びに対策の基本方針・実施内容・情報収集及びその他委員長が必要と認めた事項	4
第一種奨学金返還免除 候補者選考委員会	必要の都度	大学院第一種奨学金返還免除候補者の選考	1
図書運営委員会	必要の都度	図書館の運営の方針・企画、事業計画、調査及びその他図書館の運営に関する事項	7
保健管理センター 運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、健康管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	2
情報センター 運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、情報管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	2
国際交流センター 運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、国際交流の調査及び委員長が必要と認めた事項	1
アドミッションセンター 運営委員会	毎月 1 回	入学選抜の基本方針、学生募集、選抜の実施、選抜結果の分析、選抜の調査研究、学生確保に係る広報活動、その他センターの運営に関する事項	10
倫理審査委員会	年 3 回	「ヒトを対象とした研究」の研究の実施及び継続の適否の審査並びにその他委員会が必要と認めた事項	2
利益相反管理委員会	必要の都度	利益相反管理基準の制定及び改廃、利益相反による弊害の除去のため施策の策定、利益相反に関する審査・回避要請等、利益相反の管理のための調査、利益相反に関する学外対応及びその他利益相反に係る重要事項	2
ハラスメント防止対策委員会 大学分科会	必要の都度	ハラスメントの防止に係る実態調査・情報収集・啓発・研修の推進、再発防止に係る改善策の検討・実施及びその他ハラスメントに係る重要な事項	3
衛生委員会	毎月 1 回	職員の健康障害の防止及び健康の保持増進のための基本となるべき対策、労働災害の原因・再発防止対策	12
危機管理委員会	必要の都度	リスク情報の収集・分析、想定されるリスクの洗い出し・評価、リスクへの対応策の検討・立案・実施、危機管理マニュアルの作成・見直し、教職員・学生への教育・訓練の実施、危機対策本部に関する事項	2
防災対策委員会	必要の都度	防災に関する諸規則の制定・改廃、防災設備等の改善・強化、防災上の調査・企画、防災思想の普及・高揚及びその他防災対策に関する事項	1
FD 委員会	必要の都度	FD の企画立案、FD の実施、FD 活動の評価・結果分析及びフィードバック、FD 活動の情報の収集・提供、その他 FD に関する事項	3
附属クリニック 運営委員会	必要の都度	クリニック、センターの運営の方針・企画及びその他クリニック・センターの業務改善に関する事項	-
附属鍼灸センター 運営委員会			2
附属接骨センター 運営委員会			-
I R 委員会	必要の都度	学生の学修動向・教育の成果等に関する情報の収集・分析、学長よりの特命事項に関する情報の収集・分析、その他大学の諸活動に関する情報の収集及び分析	7
動物実験委員会	必要の都度	動物実験計画の指針等及び本規則の適合性、動物実験計画の実施状況及び結果、施設等の管理状況及び実験動物の飼養保管状況、動物実験及び実験動物の適正な取扱い並びに関係法令等に関する教育訓練の内容又は体制、自己点検・評価、動物実験等に関する情報の公開、その他実験動物等の適正な実施のための必要事項	2
コロナ危機 対策本部会議	必要の都度	コロナ感染症に関する対応等について	-

※この他、毎週月曜日に朝に大学事務局にて部課長会議を実施、各部署の業務遂行状況等を確認している。

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

専門学校 2 校合同における運営会議を以下のとおり計 24 回実施した。その他、衛生委員会の回覧会議等、各 6 回実施した。

◆運営会議

開催月	回数	開催日	議題等
令和 5 年 4 月	1 回	17(月)	学校説明会
5 月	2 回	8(月)・22(月)	学校説明会、ホームページリニューアル、新型コロナ 5 類移行対応
6 月	2 回	5(月)・19(月)	学校説明会、ホームページリニューアル、高校訪問、学園祭
7 月	3 回	3(月)・17(月)・27(木)	学校説明会、学園祭、新型コロナ感染に関する注意喚起、AT 専攻科新カリキュラムへの移行
8 月	3 回	1(火)・7(月)・28(月)	AT 専攻科新カリキュラムへの移行、学校案内作成、学校説明会、夏のオープンスクール、学園祭、入学試験問題作成
9 月	2 回	11(月)・25(月)	学校案内作成、学園祭、感染症対策、後期開始にあたり、次年度学事予定
10 月	2 回	16(月)・30(月)	学校案内作成、次年度入学試験、次年度学事予定
11 月	1 回	24(金)	入学試験、春のオープンスクール
12 月	3 回	4(月)・13(水)・19(火)	次年度学事予定、次年度 AO 入試等、現年度残りの入学試験と広報
令和 6 年 1 月	2 回	15(月)・29(月)	AO 入試、3 月開催の教育講座、次年度学事・授業予定、次年度入学試験、卒業式等
2 月	2 回	12(月)・15(木)	卒業式、臨床実習施設
3 月	1 回	7(木)	卒業式、学生アンケート

◆衛生委員会

奇数月に開催	学生並びに教職員のコロナ感染症防止に係る管理体制の確認・検討、ストレスチェックにおけるメンタルヘルス対策、労働災害対策、就業規則に係る労働環境の把握（働き方改革等） 他	6 回
--------	--	-----

◆事務局管理者会議（事務局長・総務部長・総務課長・会計係長・主任）

不定期開催 (隔月 1 回程度)	運営会議での決定事項並びに連絡事項等の周知、入試広報に係る学生募集内容の検討、当年度事業計画の進捗状況の確認並びに次年度以降の計画についての検討、各係における業務の進捗状況の確認、会計報告（予算含む） 他	6 回
---------------------	--	-----